

中心児報

発行日：2023（令和5）年5月29日
発行：社会福祉法人 中心会
児童養護施設 中心子どもの家
相模原市中央区田名10125
TEL：042-764-7046
URL <http://kodomo.chusinkai.net/>
E-mail kodomonoie@chusinkai.jp
発行責任：所長 丹 清



「真心に育つ」創設者 常岡一郎 揮毫



原稿・お手紙を募集しています (5類移行までの約3年間の記録)

所長 丹 清

3年前の春先の臨時休校から始まった新型コロナ対策は、本年5月8日に5類に移行され、平時に近い生活に戻りつつあります。専門家は第9波の懸念を示していますので手放しで安心はできませんが、5類移行までの3年間には様々な貴重な教訓があったように思います。

当初、マスクが市場から消えましたが多くの方々手作りや不織布マスクを届けて頂きました。遊びにも制限があるだろうからと屋外で使える遊具や、図書カードなどの余暇活動充実のためのご寄附もたくさん頂きました。

中心子どもの家でも、これまでの小紙でお伝えしているとおり、子ども達の協力や頑張り、職員の献身によって意味のある3年間にできたと感じています。(世の中ではお亡くなりになられた方等がいらっしゃる中、この表現が不適切であれば申し訳ありません。)

そこで、5類移行までの3年間について、職員が「手記」を書くことにしました。後世の仕事にも活かしていけるようにするためです。

もしよろしければ、小紙を読んで下さっている皆様も、どんな思いでご寄附や散髪、写真撮影のボランティア活動をして下さったかなど、原稿・お手紙をお寄せ頂ければと思います。職員の手記と共に、中心子どもの家のホームページに掲載させて頂く予定です。

郵送か、中心子どもの家のホームページからのメールで、7月末日までにお問い合わせ申し上げます。

新任職員紹介



今年度は新しい3名の職員が加わりました。どうぞよろしくお願ひいたします。



廣田 菜々美
(ひろた ななみ)

4月から心の家の職員になりました、廣田菜々美です。

初めは、実家を離れて新社会人になることに対して、不安しかありませんでした。今も不安や悩みはありますが、親身に相談に乗ってくださる先輩職員の方々のおかげで、自分らしく仕事ができます。今後は、一人ひとりの子どもを理解し、子どもの強みを伸ばせる職員になりたいと思っています。

まだまだ未熟者ではありますが、精一杯頑張りたいと思います。これからよろしくお願ひします。



浅見 樹李
(あさみ じゅり)

4月から光の家職員になりました、浅見樹李です。

約1か月間の中で、子どもたちとの関わりだけでなく事務仕事や家事など、1日が一瞬で終わる日々です。子どもたち一人ひとりに合った対応をしたいと思う反面、なかなか一人ひとりとの時間が取れないことや、まだ子どもたちとの信頼関係が築けていないといった葛藤もあります。

今後は子どもたちの良い面を伸ばしつつ自分自身もさらに成長できるような職員になれるよう努めていきたいです。技術不足や不慣れなことばかりですが、まわりの職員の方々から優しく教えて頂きとても助かっています。精一杯頑張りますので、何か至らない点などありましたらご指導のほどよろしくお願ひします。



坂本 愛来
(さかもと あいら)

4月から光の家担当になりました、坂本愛来です。

児童養護施設員になるのが中学生の頃の夢であり、今こうして中心で過ごせる毎日とても嬉しく思っております。約一カ月が経ち、学生時代の実習や3月の研修では気付けなかった大変さや、子どもへの言葉掛けの難しさに日々葛藤しております。しかしその都度見られる子どもの可愛い笑顔に背中を押され頑張っています。

いつか子どもたちから「出会えてよかった。」と、言ってもらえるような職員になれるよう、日々精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

生活の様子



お花見

春はお花見の季節です。園庭の桜も満開となりました。しかしながら、風が強く肌寒い日が続き、思うようにはお花見ができません……。ようやく晴れたある日、昼食を園庭で食べることができました。



公園

コロナが緩和して初めて大地の家、心の家で厚木市の公園へ外出をしました。子どもたちは長い滑り台に夢中になり、どうしたらスピードが出るか等と話しながら、何回も繰り返し滑って遊んでいました。昼食はみんなで大きな広場で食べ、楽しい体験ができました。子どもたちも大喜びでした。

大凧祭り



心の家は子どもの日に大凧祭りに行きました。

子どもたちに切符の購入の仕方や乗車マナーを学ぶ機会となるよう、今回は電車を利用しました。初めて電車に乗る児童がいたり、年上の児童が年下の児童のお世話や職員のお手伝いをしてくれたりと良い経験になりました。大きな凧を見たり、少し屋台が出ていたのでりんご飴やかき氷を買ったりして楽しみました。



アニマルカフェ

花の家は、春休みに高尾にあるショッピングモールに出掛けました。子どもたちのお目当ては、犬や猫、ヒヨコ、うさぎ、フクロウなどたくさんの動物がいるアニマルカフェでした。以前から動物関係の番組が大好きな花の家の子どもたち。当日まで、どの動物に触りたいか、抱っこしたいかなど、食卓は動物の話で持ち切りでした。

当日カフェに入ると、目の前に現れたのは店内を自由に歩き回るケツメリクガメでした。カメの行く手を遮らないよう子どもたちがさっと避けたり、カメが衝突した椅子を退けてあげる姿も見られました。普段触れ合うことのできない動物たちと触れ合う子どもたちは嬉しそうに目をきらきらとさせ、引率した職員もほっこりとした気持ちになりました。



こどもの日

中心子どもの家では感染症の状況を見ながら、徐々にボランティア活動の受け入れを進めています。4月下旬には「北里大学あしたの会」さんの活動がありました。初回の活動では子どもの日が近いことから、子どもの日にちなんだ製作活動を行いました。かざぐるま、かぶと、あやめ、こいのぼりの折紙に、回る風車作り、被れる新聞紙かぶと作りのコーナーがあり、子どもたちは思い思いにボランティアさんと取り組んでいました。それぞれが折った折紙の作品は一枚の画用紙に貼っていき、1つの作品に仕上げて掲示しました。後日、兜も飾り、素敵な子どもの日飾りになりました。

里親養育包括支援センター 「ふうせんかずら」のご案内

2023年4月より、相模原駅前に相模原市里親養育包括支援センター「ふうせんかずら」が開所しました。

今後の里親制度に関するお問い合わせは、下記へお願い致します。

相模原市里親養育包括支援センター「ふうせんかずら」

〒252-0231

神奈川県相模原市中央区相模原5-1-20

南栄ビル402

TEL：042-704-8433

ご寄附お礼

【2023年1月～3月】

土屋 博文 様・江成 珠美 様・山本 隆 様・会田 吉美 様・大河原 京子 様・芹澤 菊野 様
山口 すず夏 様・橋本 健次 様・荒川 市朗 様・中村 くるみ 様・中村 巧 様
エヌワイプロモーション 代表取締役 大塚 則割 様・株式会社 Daska&Desiree 様
株式会社インタージャンク 代表取締役 佐藤 善彦 様・相模友の会 様・ニラク海老名本郷店 様
チャンピオン田名 様・sagamihara filipino comm 武田 リカ 様・マルハン橋本台店 様
公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会 様・相模原ローターアクトクラブ 様
一般財団法人 日本児童養護施設財団 様・淵野辺ひばり幼稚園父母会 様
㈱ザ・シティ相模大野店 様・NPO 法人デジタルコンテンツ研究会 様・匿名1名 様

熱いご支援
ありがとう
ございます

